

報告事項 イ

令和3年度GIGAスクール構想の進捗状況について

令和3年度GIGAスクール構想の進捗状況について、別紙のとおり報告します。

令和3年6月2日

鳥取県教育委員会教育長 足羽英樹

令和3年度GIGAスクール構想の進捗状況について

令和3年6月2日

教育センター

小中学校課

令和2年度までに、概ねすべての市町村で義務教育段階における1人1台端末環境が実現し、令和3年度からは本格的にGIGAスクール構想がスタートしました。

今年度のこれまでのGIGAスクール構想の取り組みと、現状の課題・今後の対応等について報告します。

1 推進体制について

(1) 庁内推進体制の構築

4月15日(木)	ICT活用教育推進チーム会議(今年度の取組方針等協議)
随時	GIGAスクールフェアWG、教育局等との連絡会議など

(2) 市町村教育委員会との連携

4月16日(金)	市町村教育行政連絡協議会 →今年度の取組方針等報告、市町村教委・学校との情報ネットワークの構築、本県の情報活用能力育成プログラム案の提示など
4月22日(木)	市町村担当者との月例オンライン連絡会
5月26日(水)	→年度当初課題共有、各市町村の取組状況等についての意見交換

(3) 学校現場等との連携・研修

4月7日(水)	学びの創造先進校研修(鳥取市立江山学園(義務教育学校))
4月28日(水)	→教職員との取組方針等共有、課題解決型学習プログラム構築に向けた職員研修 ※インテル連携
5月18日(火)	
4月20日(火)	ICT活用教育推進地域連絡協議会(鳥取南中、倉吉西中、三朝中、名和中の4校区) →推進地域校の管理職・情報教育担当者、教育局指導主事等との取組方針等共有 ※インテル連携
4月27日(火)	県立特別支援学校情報教育担当者会(特支学校の情報担当者)
5月6日(木)	ミニ講演会～1人1台端末はじめの一步～ ※インテル連携
5月11日(火)	柏市教育委員会 教育研究専門アドバイザー 西田光昭氏
5月10日(月)	学校CIO(情報化を推進する総括責任者)研修
5月20日(木)	→小・中・義務教育学校、県立学校の校長対象のトップセミナー
5月19日(水)	米子西高校PBL研修(教職員との方向性等共有) ※インテル連携
随時	校長会や副校長・教頭会等で今年度の取組等について情報提供

※インテル株式会社とは、令和3年3月にICT活用教育を推進するための連携協定を締結

(4) 情報発信

5月28日(金) ～毎月1回配信	とっとりGIGAスクール構想推進チャンネル(GIGAチャン) 配信開始 →ICT活用教育推進地域や学びの創造先進校で実践された授業等の事例を、各市町村教育委員会や学校に向けて発信 ※初回は、鳥取市倉田小と倉吉市小鴨小の取り組みを紹介
---------------------	---

2 1人1台端末等の整備・活用状況

(1) 義務教育段階の端末整備

- ・4月中に児童生徒への端末・アカウント配布、アプリの設定等を実施
- ・各学校において、授業等で様々な形で活用中

(2) 高等学校段階の端末整備

- ・4月上旬～中旬 先進2校（倉吉東、米子東）の1年生への機種指定端末の納品
※鳥取商業高校は、6月中に納入予定
- ・他の県立高校でも新入生へのアカウント配布・アプリの設定を実施、スマホ等で活用

(3) 校務等でのICT活用

- ・Google Workspace for Educationのアプリを活用した情報共有、研修アンケート等の実施
- ・集計 ※4月～6月までの教育センター主催研修は、非集合型で実施

3 現状の課題・現場の声と今後の対応等

(1) ハード面

課題・現場の声等	今後の対応等
<ul style="list-style-type: none"> ・指導者用端末や大型提示装置（プロジェクター等）が十分整備されていない。 ・体育館や多目的室等にWi-Fiの環境が整備されれば活用が広がる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村教育委員会と連携した予算確保

(2) ソフト面

課題・現場の声等	今後の対応等
<ul style="list-style-type: none"> ・学校により校内推進体制に格差がある。（推進組織の有無、複数担当体制、自主研修の実施等） ・教員の意識や活用スキルに差があり、授業等での1人1台端末の活用イメージが十分浸透していない。 ・情報教育担当教員の負担が大きい。 ・インターネットトラブルや視力・姿勢など健康への影響に不安がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・推進地域などの取組状況の共有（GIGAチャン）.. 5月28日から配信 ・学校内、地域ごとでの情報共有（Google Classroom等の活用） ・操作マニュアルの動画配信等（放課後ワンポイントレッスン）.. 5月11日から配信 ・学校訪問型研修継続中（基本→応用へ） ・とっとりICT活用ハンドブックの増補（授業形態ごとの具体的活用場面） ・情報活用能力育成プログラムの作成 ・情報モラルエデュケーター（社会教育課事業）を派遣中 ・端末使用ルールや使用時の姿勢等について改めて周知

(3) 新型コロナウイルス感染拡大への対応

課題・現場の声等	今後の対応等
<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育活動を止めないための体制作りについて、市町村教育委員会や学校現場のサポートが必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・5月19日（水）岩美町教委と連携し、生徒用端末持ち帰りにかかる実証実験を実施 →実験結果は5月26日に市町村と共有済み →「持ち帰りの手引き」を作成予定

【参考資料】

学校現場からの活用状況の報告

【倉吉市立小鴨小学校】

ドリルタイム(基礎・基本の力を身に付ける時間)にジャムボード(※)を使って資料の共同制作を行いました。「今日の朝ごはん」をテーマに、それぞれのグループで、イラストを使って表現したり、文字を入力したりとたくさんの工夫が見られる資料ができました。

また、算数科の学習では、デジタル教科書を活用して思考を深める場面を設定しました。児童1人1人が自分の考えをタブレットを活用して伝え合い、友だちの考え方を聞き取りながら、式の意味を説明したり確認したりすることができました。



【大山町立名和小学校】

3年生が、総合的な学習の時間にジャムボード(※)を活用し、学年の花壇の設計図を作りました。「見る人がきれいだなと思える花壇を作ろう」をテーマに、児童1人1人が画面上の花のイラストを操作し、独創的な花壇をデザインすることができました。

※ジャムボード…共同作業に適したデジタルホワイトボード



【鳥取市立南中学校】

理科の授業の小テストにおいて、フォーム(※)で問題を作成し、クラスルーム(※)で出題をしました。生徒は解答後すぐに正誤と点数が確認でき、理解の状況を把握することができました。教員はプリントを印刷・配布したり、採点したりする時間を短縮することができました。

また、校内の職員研究会をタブレットを活用して実施しました。これまでプロジェクターでスクリーンに資料を写したり、印刷して配布したりしていたものを、それぞれの画面を見ながら確認をすることができました。



※フォーム…アンケートやテスト等を作成でき、自動集計や採点機能等を有するツール
※クラスルーム…学級や特定のグループ単位で児童生徒が課題の確認や提出ができるツール

【白兔養護学校】

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、病院内で学んでいる生徒との交流学習をFaceTime(※)を使ってオンラインで行いました。お互いに画面を見ながら自己紹介をし、心を込めて作ったプレゼントの紹介をしました。また、「パプリカ」の曲に合わせて、一緒にダンスも踊り、楽しい交流となりました。



※FaceTime…Apple社が開発したビデオ通話アプリ

県立高校では、小中学校におけるICT活用を高校でも継続させるため、令和4年度新入生からBYAD(※)による1人1台端末の実施を予定しています。これに先立ち鳥取商業、倉吉東、米子東の3校では、先行実施として令和3年度新入生から自己負担で購入していただいたChromebookが順次1人1人に届けられ、学習活動等への活用がスタートしています。

【倉吉東高校】



音楽の授業で調べた内容のプレゼン資料をグループで作成しています。「一つのファイルを共同編集できるので便利です!!」

【米子東高校】



情報の時間にChromebookの初期設定をしました。「これから使うのが楽しみです!!」

※BYAD…Bring Your Assigned Deviceの略。学校が推奨した機種を個人で購入し、学校内に持ち込み活用すること。

共通の学習用ツール(Google Workspace for Education)の活用

鳥取県では、小学校から高等学校まで継続して、共通の学習用ツール(Google Workspace for Education)を児童生徒及び教員が使用しています。進学先でも同じツールを活用することで継続した学びができます。
※各学校の取組で紹介したジャムボード、フォーム、クラスルームはこの学習用ツールの一部です。